

日本天文学会 2010 年春季年会のお知らせ

2010 年春季年会は、2010 年 3 月 24 日(水)から 3 月 27 日(土)までの 4 日間、広島大学(広島県東広島市)にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の第 103 巻 3 月号(2010 年 2 月 20 日発行)に掲載予定です。

(1) 料金表

項目	会 員	非会員	
参加費	3,000 円(不課税) (但し会員で講演ありの場合、参加費は無料)	5,000 円(消費税込み)	
講演登録費	3,000 円(不課税)	5,000 円(消費税込み)	(1 講演につき)
年会予稿集	1,000 円(消費税込み)	1,000 円(消費税込み)	

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※講演登録者は、講演申込み後にキャンセル等しても会期終了までに講演登録費を支払う必要があります。

※講演申込時には非会員の方で、会員として年会に参加を希望される方は、2010 年 2 月末までに必ず入会の手続きを済ませ、年会実行委員会にご連絡ください。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	送付先・連絡先等	関連項目
講演申込	(郵 送)	2009 年 12 月 14 日(月)必着	日本天文学会年会係 年会 Web ページでアナウンス
	(電子メール)	2009 年 12 月 8 日(火)正午から 2009 年 12 月 15 日(火)正午まで ^(注1)	
複数講演の順序指定	2009 年 12 月 24 日(木)正午まで	年会実行委員会	(7)
ポストデッドライン・ペーパー	2010 年 3 月 11 日(木)正午まで	年会実行委員会	(8)
最新情報コーナー	年会会期中まで	年会実行委員会	(9)
保育室の利用申込	2010 年 3 月 1 日(月)正午まで	年会実行委員(保育室担当)	(10)
講演の変更など	分かった時点ですぐに	年会実行委員会	(11)
各種の会合申込	2010 年 3 月 1 日(月)正午まで ^(注2)	年会実行委員会	(12)
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2009 年 12 月 1 日(火)正午まで	年会実行委員会	(13)
懇親会の会期前申込	2010 年 3 月 11 日(木)正午まで	「(14) 懇親会と参加申し込みについて」参照	
旅費一部補助	2010 年 1 月 20 日(水)必着	本号「旅費補助について」参照	
ジュニアセッション講演申込	2010 年 2 月 4 日(木)必着	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照	

(注 1) 電子メールの自動受付は 12 月 16 日(水)午前 9 時まで行いますが、12 月 15 日(火)正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として 12 月 15 日(火)正午までに投稿してください。

(注 2) 2009 年 12 月 24 日(木)正午までに申し込みをいただいた会合は、年会予稿集、天文月報に案内を掲載します。特に、一般の参加者に開かれた会合については、積極的に掲載して周知してください。

連絡先

◆年会実行委員会 委員長 本間希樹(年会理事・国立天文台)

e-mail: committee2010@nenkai.asj.or.jp

電話: 0422-34-3640

FAX: 0422-34-3814

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

e-mail: committee2010@nenkai.asj.or.jp

電話: 0422-31-5488

FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 小島康史(広島大学)

〒739-8526 広島県東広島市鏡山 1-3-1 広島大学大学院理学研究科

e-mail: kojima@theo.phys.sci.hiroshima-u.ac.jp

電話: 082-424-7365

FAX: 082-424-0717

年会開催期間(2010 年 3 月 24 日~27 日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- 講演分野は次の 18 分野です。
J. 高密度星, K. 超新星爆発, L. 太陽系, M. 太陽, N. 恒星, P1. 星形成, P2. 系外惑星, Q. 星間現象, R. 銀河, S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V1. 地上観測機器 (電波), V2. 地上観測機器 (その他), W1. 飛翔体観測機器 (X線・ γ 線), W2. 飛翔体観測機器 (その他), X. 銀河形成, Y. 天文教育・その他
- 「企画セッション」は次の 2 件です。
 - A. 「Fermi ガンマ線宇宙望遠鏡がひらく高エネルギー宇宙物理学」(略称: Fermi)
世話人: 深沢泰司 (広島大), 河合誠之 (東工大), 水野恒史, 山崎 了 (広島大)
 - B. 「TMT で拓く新しい天文学」(略称: TMT)
世話人: 家 正則, 高見英樹, 山下卓也, 臼田知史, 柏川伸成 (国立天文台)
- 企画セッションは, 世話人から依頼される講演と通常の講演, 議論の時間などから構成され, その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申込みを行います。tennet などに流れる世話人からのアナウンスに注意し, 講演申込みの際は世話人からの指示に従ってください。

(4) キーワード

- 分野のあとにキーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
- 観測機器分野 (地上・飛翔体) で, 関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入してください。
- 特に下の分野では「推奨キーワード」の中からも選び, それらをキーワード欄の先頭に入れてください。

◎推奨キーワード

高密度星	: 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
超新星爆発	: 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
太陽	: 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
恒星	: 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
銀河	: 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
銀河形成	: 銀河進化, 化学進化
地上観測機器	: 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線
飛翔体観測機器	: 電波, 赤外線, 可視光, X線, γ 線, 重力波

(5) 講演の形式

- (a) 口頭講演 (9 分間の口頭発表と 3 分間の質疑応答); (b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと 3 分間の口頭発表); (c) ポスター講演・口頭発表無し (ポスターのみ) の 3 種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります
- 講演者 1 人あたり可能な講演数は最大 3 件までです。また, (a) 講演は 1 人 1 講演までで, 3 件目の講演は (c) 講演 (ポスターのみ) に限ります。
- 口頭発表用にプロジェクタおよび書画カメラを用意します。ただし, 書画カメラを使用する場合は, 講演申込時に申し出てください。プロジェクタに接続するパソコンはご自分でご用意ください。
- ポスター 1 枚あたりのボードの大きさは, プログラムに掲載します。(通常は縦 180 cm, 横 90 cm です。)

(6) 講演の申し込み方法

- ◆ 郵送による申し込みの場合
 - 規定の原稿用紙に記入し, 封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上, 日本天文学会年会係までお送りください。
 - 規定の原稿用紙は必要枚数と送付先を明記の上, e-mail または FAX で天文学会年会係まで請求してください。
 - ◆ 電子メールによる申し込みの場合
 - 年会の Web ページに掲載します。
- ※講演は完成度の高いものに限りません。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し, (i) 十分な背景説明を行うこと, (ii) 研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること, の 2 点を心がけてください。これらに留意すれば, 大抵は 10 行以上の予稿になるはずで, 以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは, 受理しない場合があります。

※予稿集は事前配布となっており、2010年2月20日付で発行する予定です。年会のwebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際には、十分ご注意ください。

◆注意：講演者は氏名の欄で○をつけてください（必ずしも筆頭著者でなくても結構です）。講演登録費はこの講演者が支払ってください。

(7) 複数講演の順序指定

●グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込み後、期限内に下記1,2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡下さい。

1. 受付番号（分野、発表形式を含む番号）、2. 講演者名

(b) 講演は3つ一括りが原則です。3つに満たない場合は、最初か最後に並べて下さい。また、ご希望に沿えない場合もありますのでご承知おきください。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

●PDLは、緊急性・トピックス性に富んだものに限ります。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。

●年会の申込み締切後、3月11日（木）正午まで受け付けます。上記の理由を添えて予稿原稿を年会実行委員会宛に送付してください。

●PDLの講演方法は、(b) ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）、または(c) ポスター講演・口頭発表無し（ポスターのみ）です。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c)講演になります。

(9) 最新情報コーナー

●最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDLより緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

(10) 天文学会会期中の保育室

●保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲載しています。不明な点は年会実行委員（保育室担当）へe-mail (hoiku2010@nenkai.asj.or.jp) でお問い合わせください。

(11) 講演のキャンセルや変更

●やむを得ず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、その理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、講演のキャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。

(12) 年会時の各種会合

●会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会実行委員会までご連絡ください。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯（昼休み）に限ります。

●申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

●2009年12月24日（木）正午までに申し込みをいただいた会合は、年会予稿集、天文月報に案内を掲載します。特に、一般の参加者に開かれた会合については、積極的に掲載して周知してください。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

●多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会までご相談ください。

(14) 懇親会と参加申し込みについて

●懇親会は、3日目（3月26日）夜に広島大学生協食堂にて開催予定です。会費は、天文学会員かどうかにかかわらず、会期前申込みの場合は一般5,000円、学生3,000円、年会当日申込みの場合は一般5,500円、学生3,500円の予定です。ただし当日券は枚数を限定し、なくなり次第販売を終了する予定です。

●会期前申込みの締切りは3月11日（木）必着です。後日tennetでお知らせするWebページからか、ハガキで申込んでください。ハガキの場合は、氏名、連絡先（できればe-mailアドレスも）、一般/学生の区分を明記して、年会開催地理事宛にお送りください。

●懇親会の開催準備のため、参加者数を早めに把握する必要があります。懇親会に参加希望の方は、出来るだけ会期前申込みをご利用ください。
本間希樹（年会実行委員長）

日本天文学会旅費補助について

Travel Grant for Attending Society Meeting

日本天文学会では、正会員（学生）の年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。自己負担基準額は現在 8 千円ですが、応募状況に応じて変動いたします。

希望者は、該当する申込締切日までに下記の用紙（学会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/asj/forms.html> からダウンロードできます）に記入の上、郵送か FAX で申請してください。なお確認の為、氏名・所属を明記の上、申請書を送った旨のメール (jimu@asj.or.jp) を学会事務所へお送りください。

応募資格は、講演者（ポスター講演も含む）であり、天文学会の正会員のうち当年度会費納入済みの学生で、かつ給与を受けていない人に限ります（日本学術振興会の特別研究員等は、補助対象外です）。

1. 旅費は、年会会場でお渡しますので、印鑑をご持参の上、年会会場受付までお越しください。年会終了後にはお渡しできませんので、ご注意ください。
2. 補助金支給の決定については、特に連絡しません。
3. 本用紙をコピーしてご使用ください。
4. 申請先（社）日本天文学会 事務所
 郵送：〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内
 FAX: 0422-31-5487
 締切 春季年会：1月20日・秋季年会：7月20日 必着
 なお、電子メールでの申請は受け付けていません。
 不明な点は、学会事務所にお尋ねください (TEL 0422-31-1359)。

年会旅費補助申請書

年 月 日

(社)日本天文学会 理事長様

(ふりがな)
 申請者氏名 _____
 Applicant's name

会員番号 _____
 ASJ membership number

所 属 _____
 Affiliation

E-mail _____

講演受付番号 _____
 Abstract receipt number

出 発 地 _____
 Origin of travel

講 演 題 名 _____
 Title of paper

指導教官所属・職・氏名 _____
 Thesis supervisor's affiliation, position and name
 (自筆署名)
 (Autograph signature)

日本天文学会第12回ジュニアセッションのお知らせ

中学生・高校生・高専生が天文学会年会の場で発表するジュニアセッションを、2010年の天文学会春季年会で開催します。天文や宇宙に関係することについて、観測・研究したり調べたりしたことがあれば、なんでも発表できます。発表は下記の通りに募集しますので、ふるって応募してください。多くの皆さんの参加を期待しています。

◆日時・場所

日本天文学会 2010年春季年会にて

2010年3月24日(水)～27日(土)、広島大学東広島キャンパス(広島県東広島市)

●口頭発表: 3月27日(土)

●ポスター発表: 年會会期中

※参考情報: 交流会・Astro-HS イベント

期日: 3月28日(日)

会場: 広島市こども文化科学館 (<http://www.pyonta.city.hiroshima.jp/>)

所在地: 広島市中区基町5番83号

電話 : 082-222-5346

詳細は、Astro-HSのweb (<http://www.astro-hs.net>) 等でお知らせします。

◆発表を申し込める人

- 小学生(高学年)、中学生、高校生、高専生(1～3年)など10歳台の方。高校卒業後は1年以内まで。(以下では、簡単のために「生徒」と表記)
- 個人または団体(グループ)。
- 申し込みの手続きは、代表者(生徒でも指導者でもよい)が行ってください。連絡には主に電子メールを使いますので、電子メールが使える方を代表者にしてください。ただし、電子メールが使えない場合には個別に対応しますので、下の問い合わせ先までご連絡ください。
- 著者名としては生徒のみとしてください。

◆発表の内容

- 天文学や宇宙に関係する研究。(高専4年次以上および大学で行なった学習や研究は除きます。)

◆講演方法

- 発表には、口頭発表(希望者)とポスター発表(全員)があります。
- 口頭発表を希望する場合にも、ポスター発表は行ってください。これは、発表件数が多い場合など、口頭発表の時間が短くなってしまうか、口頭発表ができない場合も考えられるためです。
- ポスターのみで発表することも可能です。さらに、年會会場まで来られない場合などは、予稿とポスターを提出するだけの発表も可能です。

◆申し込みの方法とその受理

- 講演の申し込みは、2010年2月4日(木)必着です。
- 申し込みは、ジュニアセッションのウェブサイト(下記)から行ってください。ウェブサイトにおいて申し込みフォームへ記入し、送信してください。さらに、発表内容をA4で2ページにまとめた予稿原稿を電子メールで送ってください。ウェブサイトからの情報と予稿原稿の両方がそろったところで申し込みとします。
- 予稿原稿の書き方や電子メール送り先などにつきましては、ウェブサイトに掲載いたします。
- インターネットにアクセスできない場合や、電子メールが使えない場合には、下の問い合わせ先までご連絡ください。

- 申し込まれた講演については、ジュニアセッション実行委員会で審査いたします。

◆発表手段

- 口頭発表は、パソコンによるプレゼン形式となります。その他の発表手段を希望する場合には、下の問い合わせ先までご連絡ください。
- ポスター掲示用のボードの大きさは、縦 180 cm×横 90 cm を予定しています。

◆セッション参加についての注意

- ジュニアセッションだけに参加する場合（発表および聴講）は、年会の参加費や講演登録費をお支払いいただく必要はありません。年会受付（ジュニアセッション専用の受付を設置する予定）での手続きのときに、ジュニアセッションのみに参加することを申し出てください。
- 生徒の方は、そのまま通常のセッションを聴講しても構いません。（生徒以外の方がジュニアセッション以外のセッションを聴講される場合には、参加費をお支払いください。）

◆ウェブサイト

- ジュニアセッションの講演申し込みなどについての情報や過去の発表内容につきましては、ジュニアセッションのウェブサイトをご覧ください。日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> からジュニアセッションを選んでください。
- 日本惑星協会のウェブサイト (<http://www.planetary.or.jp/>) にも、過去の発表内容（一部）が掲載されています。

◆ジュニアセッション実行委員および世話人

実行委員：

吉川真，石川直美，大西浩次，鈴木文二，西村昌能，松本直記

世話人：

縣 秀彦，有本淳一，小野智子，篠原秀雄，高橋典嗣，谷川智康，内藤博之，永井智哉，長谷川直子，室井恭子，山岡 均，渡部潤一

◆ジュニアセッションについての問い合わせ

ジュニアセッションにつきましては、お近くの実行委員や世話人、または下記のジュニアセッション実行委員長まで、お問い合わせください。実行委員や世話人の連絡先は、ジュニアセッションのウェブサイトに掲載されています。発表内容等についても、お気軽にご相談ください。

ジュニアセッション実行委員会委員長 吉川 真 (JAXA)

TEL&FAX: 042-759-8341

e-mail: yoshikawa.makoto@jaxa.jp

住 所: 〒229-8510 相模原市由野台 3-1-1 宇宙航空研究開発機構